

# Nutrition News



## のうさんぶつ こだいらの農産物

### こだいらし のうさんぶつ 小平市でつくられる農産物

小平市の農産物は、トマト・ほうれんそう・とうもろこし・キャベツ・さといもなどの野菜が多く、約60種類ほど生産されています。果物では梨が最も多く、ブルーベリー・ぶどう・柿・栗なども生産されています。また、パンジーなどの花壇苗や、シクラメンなどの鉢物、多種多様な植木の生産がさかんに行われています。

### ふゆ しゅうかく やさい 冬に収穫できる野菜

小平市で冬に収穫できる野菜は、うど、小松菜、かぶ、里芋、ほうれん草、大根、ねぎなどがあります。

特にうどは「東京うど」というブランド名で出荷しており、栽培している農家は3戸ほどですが、生産量は都内3位を誇っています。独特な香りとシャキシャキとした食感が魅力で、疲労回復に役立つアスパラギン酸や美肌効果が期待できるコリン酸などが豊富に含まれています。



平成5年度に、公募で選ばれたこだいら農業シンボルマークです。出荷用の箱、野菜を束ねるテープ、販売袋、のぼり旗などに登場しています。

### とくさん くだもの こだいら特産の果物

- なし 梨  
1947年より生産されており、平成29年には生産量が約209トンと、都内では第三位の生産量を誇っています。幸水、豊水、新高などが主に栽培されています。直売所などで販売されることが多いようです。



- ブルーベリー  
小平市は国内でのブルーベリー栽培発祥の地と言われています。1968年に東京農工大学の教授が日本の気候に適したブルーベリーをアメリカから取り寄せ、そこからブルーベリー栽培が広まりました。

小平産のブルーベリーをより知って食べてもらい、親しみを持ってもらおうという趣旨で、武蔵野美術大学の協力を得て、シンボルデザインを作成されました。



